

令和5年度指定管理業務に関する事業報告書（地域包括支援センター）

センター名 桂川地域包括支援センター

1 施設の管理運営

【営業日及び勤務体制】 ①営業日 月曜日～土曜日 ②営業時間 午前8時30分～午後5時30分 ③休業日 日曜日、12月29日から1月3日 ※休業日、夜間は当直者及び宿直者が対応。緊急時は包括センター長に連絡。 【事業実施地域】 京都市西京区（桂東学区・桂徳学区・川岡学区・川岡東学区） (参考) 今後実施予定の指定管理者提案内容

2 事業実施内容

①総合相談支援業務 ②権利擁護業務 ③会議予防ケアマネジメント業務 ④包括的・継続的ケアマネジメント業務 【詳細】 ①担当学区における健康教室や地域交流活動等への参加協力支援 ②特定健診でのセンター広報活動 ③医療・福祉の連携構築のため各種ネットワークの協力参加 ④地域ケア会議開催 ⑤介護予防支援計画作成 (参考) 今後実施予定の指定管理者提案内容
(参考) 自主事業内容

3 サービス提供状況

【配置職員の状況】※令和6年4月1日時点 ①センター長 1名（社会福祉士兼務） ②保健師等 1名 ③主任介護支援専門員 1名 ④社会福祉士 1名 ⑤介護支援専門員 3名 (参考) 今後実施予定の指定管理者提案内容
--

4 市内中小企業への発注に対する考え方

--

5 施設の利用状況（施設の稼働率、利用者数、事業参加者数など）

(1) 介護予防支援給付対象者数（実績値）

3893 人

(2) 相談延べ件数（実績値）

2412 件

(3) 収支実績

ア 令和5年度収入状況（単位：円）

委託料	28,980,600
介護保険収入	19,437,292
その他	1,151,424
収入計	49,569,316

イ 令和5年度支出状況（単位：円）

人件費	44,539,677
事業費	4,036,849
委託費	1,105,897
小額修繕費	149,554
その他	918,583
支出計	50,750,560

6 施設の利用者満足度の把握

(1) 利用者満足度の把握状況

意見用紙及び回収箱を施設1階事務所の受付窓口に常時設置している。

(2) 利用者満足度把握の結果

地域包括支援センターに対する意見・要望等は確認されず、集計等は行っていない。

(3) 意見等への主な対応状況

利用者からの意見・要望・苦情等があれば施設長と各部署の所属長が協議の上、対応にあたる。

7 評価（指定管理者自己評価）

コロナ禍以降、地域行事への参加を極力控えてきた結果、民生委員、老人福祉員、学区社協といった地域で活動している方々との「顔の見える関係性」が希薄になっていた。連携しやすい関係性を再構築するために参集型の地域ケア会議や学習会の開催を増やし、手応えを感じた。

欠員で人員体制が整わない期間が続き「介護予防支援及びケアマネジメントAの担当件数」が上限を超えた（委託料返還に係る特例措置適用）。専門職の欠員により臨時的措置を講じたが、委託料の一部返還が生じた。このような状況下でも職員各自がそれぞれの役割を果たし、総合相談、権利擁護、介護予防ケアマネジメント事業など、地域の高齢者の相談を滞らせることなく適切にすすめることができた。

障害者差別解消法に基づく不当な差別的扱いの禁止及び合理的な配慮の提供に努めながら、「人権・権利擁護」に関する職員研修を施設全体で実施し、職員の理解を深めることが出来た。